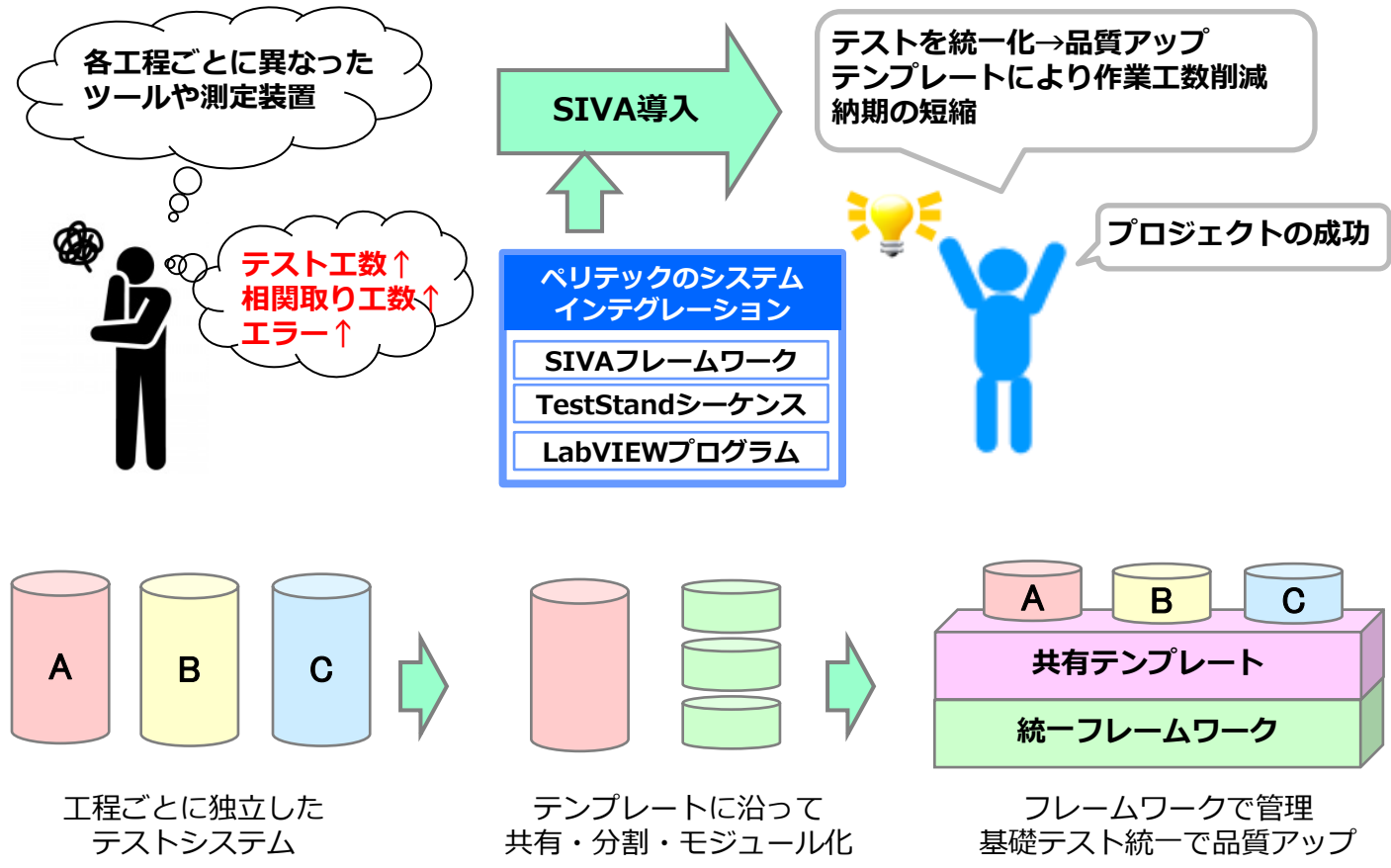


半導体のテストフェーズを統一化して作業効率UP



概要

SIVAは半導体テストに特化したテストフレームワークです。統一フレームワークで管理することで、プログラムの再利用性を高め、新規テストの開発も少ない時間とコストで製作を可能にします。開発から生産まで統一フレームでテストするため、高い品質管理を行えます。ペリテックではLabVIEWプログラム言語で機能ごとにモジュール化したプログラムを作成して、TestStandでテストシーケンスを構築、さらにSIVAによる管理により短期間での高機能かつ拡張性の高いテストシステムを開発します。

<p>モジュールドライバ 計測器の通信制御 演算・データ変換</p>	<p>シーケンス構築 テストパターン編集 サブルーチン制御 判定・分岐処理</p>
<p>テストの統一管理 パラメータ設定 レポート生成 デバッグ</p>	



LabVIEW : グラフィカルプログラム言語。機能を持ったアイコンを繋ぐことで視覚的にプログラミングが可能。



TestStand : シーケンス制御ソフト。テスト項目の追加や判定が簡単で実装できる。



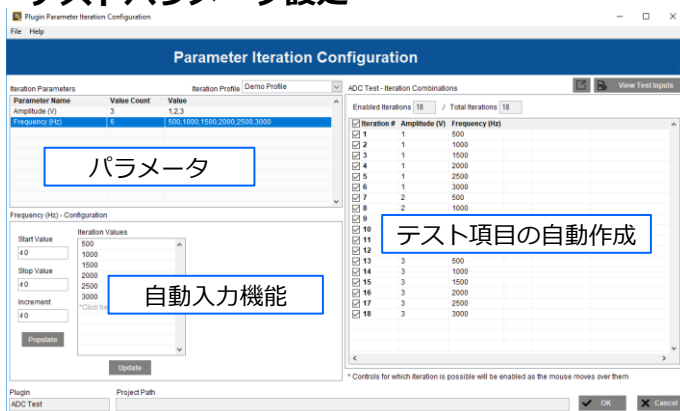
SIVA : テストフレームワークアプリケーション。

SIVA特徴

- 測定パラメータの設定が容易
- テンプレートによつての再利用性がアップ
- デバッグテストの視覚化

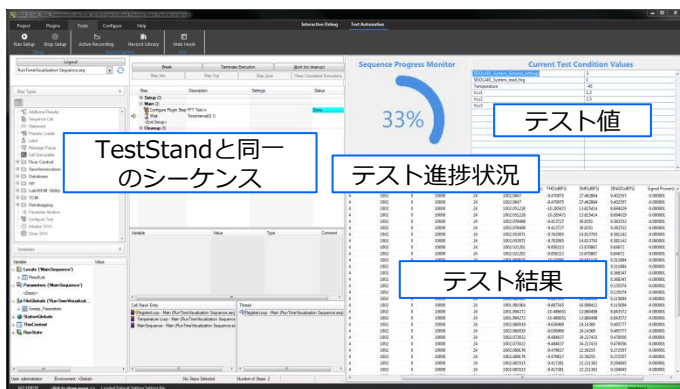
SIVA機能例

テストパラメータ設定



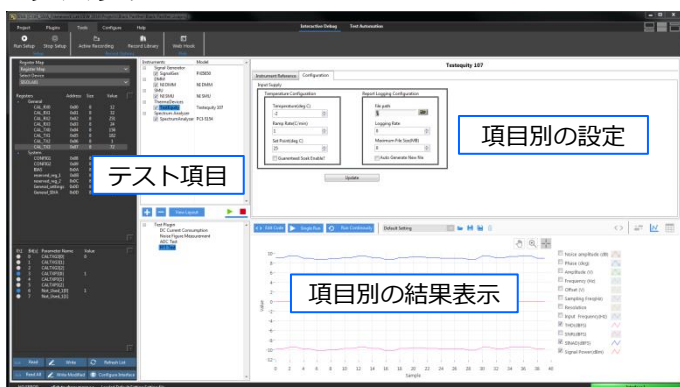
パラメータの設定はマニュアル入力と自動的にパラメータが設定される自動入力機能があります。テスト項目が自動作成されるため、手間を省略できます。複雑な条件式も画面から容易に設定可能です。

テスト実行



テスト実行はリアルタイムで状況を把握できます。SIVAによりTestStandのシーケンス管理機能が拡張され、進捗、テスト結果の確認が容易に行えます。テスト結果のレポート生成機能などの効率的なデータ管理が可能です。

デバッグ



テスト項目ごと設定と結果を確認できるため、デバッグ時に修正箇所の発見・確認が行いやすく、開発の効率化、メンテナンス性の向上ができます。